

《水田畑地化圃場を利用した、大規模ニンニク栽培》

市町村	酒田市	対象地域	平田地区	分野	園芸
実施主体名	土田 治夫	代表者氏名	土田 治夫	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	酒田市
実施主体構成	個人				

プロジェクト目標 (5年後)	産出額 (増加額)	6,000千円 (3,000千円)				
	独自の目標項目	ニンニク栽培面積 70a → 120a				
各年次目標	現 状	1年目 (H21)	2年目 (H22)	3年目 (H23)	4年目 (H24)	最終年 (H25)
	産出額	300万円	400万円	450万円	550万円	600万円
	独自の目標項目	70a	90a	100a	100a	120a
プロジェクト概要	◎実施方針	県が施工した水田畑地化圃場を活用し、大規模ニンニク栽培を行い、産出額の増大と雇用の創出を目指す。				
	○産出額の増大	輸入ニンニクに押され気味だが、8割程度契約栽培のため、価格が安定しているため、面積拡大により産出額を600万円に増大させる。				
	○雇用の創出	播種・除草・収穫・出荷時に2～6名の雇用を創出する。 平成25年の雇用人数 延べ150人・日 (年平均約0.5人/日)				
	○創意工夫	マルチ栽培の導入により、早期から出荷をすることで、他産地との差別化を図る。				
	○実現性	生協との契約栽培をはじめて30年、生産者の高齢化による面積減を補い、安定した供給生産のために機械化を図る。2年後に大学(農学部)を卒業し、就農予定の後継者と面積拡大を目指す。				
	○地域への波及効果	水田畑地化圃場の有効利用モデルとなる。				
	○その他	地域のモデル農業者となるとともに、現在も研修を受け入れている「県立農業大学校」の学生の育成も行う。				

		実施年度 (平成21年度)	実施年度 (平成23年度)
事業内容		①乗用管理機の導入 (防除・除草・排水対策・マルチャー)	①ニンニク収穫機の導入